

# スピリチュアル物語

## 50話 by 魔女ともえ

この『スピリチュアル物語』は、BRIDGE USAさんよりお引越しました

### 魔女ともえ

ミステリースクールよりイニシエーションを受けた全米初の日本人魔女。チャネリング、白魔術、過去世リーディング、オーラ診断、浄化などを通じて、人々の幸せをサポート。ヘリと小型機のパイロット免許を持つユニーク魔女。

トランスマリ奥特内スターボックス(要予約):1時間 \$60

メール相談:(要予約):majyotomoe@gmail.com \$16/1件(Paypal)



「相手も自分と同じ様に考え、同じ様に行動すべきだと思っている大人についての続きじゃったな」そう言うのとマグワートはコホンと咳払いをした。「そういう人は自己中心性というよりも価値観の問題なんだから？」ウィザットが後に続く。「自己チューと自己中心性は違うんですよね？自己中心性とは、子供の心の発達段階の途中で、他者が自分とは違う人間であり、違う思考回路を持っていることさえ気付かなく、自己と他者の心の区別が付かない状態。でも大人の場合には価値観の問題、ということでしたね」マジョリアルが話をまとめた。「そうじゃ。同じ様に見える行動でも、子供の

場合には自分からしか物が見られないという自己中心性。じゃが、大人は相手は自分とは違う人間であり、違う思考回路や人生観、価値観を持っていることは当然理解してはいるけれど、それでも相手は自分と同じ言動をすべきだと思っているという点で、自己中心性とは異なる訳じゃ」「じゃあ何故、人は皆違うと解っていて、それでも尚相手が自分と同じ言動をすべきだと思っただい？」それは…自分の考えこそ正しい。と相手が間違っている。と思っ込んでいるからじゃよ。つまり相手と自分の違いを理解出来ている点では、子供の自己中心性とは違うんじゃが、違いを間違いだと思っ

まうんじゃ。何故なら正しいのは自分なんだから、自分と違う相手は当然間違っている。そういう価値観じゃ。そしてもつとそれが強い場合、正しい自分が間違っている相手を直してあげねば、と思っ込む。勿論、本当に相手側に問題がある場合もある。しかしながら、全てに於いて自分と違う部分を間違っているのは、人間関係に於いて大きなフリクションを招くことにもなるんじゃ」



★これまでのお話(1~49話)は魔女ともえのwebで読むことができます。

[www.majotomoe.com](http://www.majotomoe.com) 1月5日号につづく!